

第1回 代表取締役社長 宮岸 武司

【略歴】昭和57年入社。自動車部長、常務取締役、代表取締役専務を歴任し、令和2年に代表取締役社長に就任。

初回の放送では、宮岸社長が会社の現況や、働きやすい職場づくりのための様々な取組みについて語りました

北陸鉄道は昨年10月13日で80周年ということで、おめでとございまして。僕はずっとバスの番組をやるのが夢でした。とにかくバスが好きで、行先表示板が在フィルムだった時代に、方向幕がぐるぐる回る様子や車両を見たていつも終点まで乗って、駅とか車庫でずっと見てました。北陸鉄道も80周年ということで色々な記録とか資料が残っていると思いますが、どこかに保管されていますか？保管している場所もありますし、イベント等で販売もしています。社内報の記事や、この前は80周年史も作りましたけども、担当者は大変苦労しながら昔の資料を探してまとめてくれました。

— そういうものを集めて資料館を作って欲しいです！僕は北陸鉄道のバスはほぼ全路線に乗っていて、昔の時刻表の冊子も持っていますがひと昔前に比べると終バスは早くなりましたね。運転士の労働条件向上を目的に4月から法律も変わり、大変でしたわ。逆に言えば運転士が働きやすいように法律が改正されているので、我々はそれをしっかり守っていきます。運転士もこれからは少し早く終われるという点は良いと感じてくれていると思います。

— 法律が変わって9時間連続で休まないとかの乗務ができないようになり、どうしても終バスが早くなってしまうというのですが、移行はスムーズにできましたか？
— そうですね。やはり朝のダイヤを守ることを重点的に、時間をかけて考えてきましたので、移行はスムーズにできたかと思えます。

— 法律の改正に加えて運転士不足ということですが、今はどれほど不足していますか？
— (グループ全体で)約1割、40人くらいです。

— 全国的にみてもバス運転士が不足していますが、なぜでしょうか。
— 若手の人口が減っているということもあるでしょうが、やはり事務系や内勤でパソコンなどを使う仕事が増えており、そちらを希望されている方が多い印象です。

— ですがバスは地域インフラなので、地域の大勢の皆さんの役に立てる、すてきやりがいのある仕事だと思います。そうですね。私自身、朝はバスで通勤するようにしていますが、自家用車と違ってバスに乗っている間は新聞や本を読んだり時間を自由に使えること、また季節のいろどりや街の賑わいなど景色を楽しむことができるのが非常に良いなと思います。

今朝も兼六園下の素晴らしい桜を見ながら出勤しました。それから、環境が良い、脱炭素に貢献できること。この便利なバスで人々の日常生活を支えているということ、こんなやりがいのある仕事はないと思っています。

— 確かにバスから見える風景というものは良いもので、私も番組内で度々バスからの景色を話題に話を膨らませてきました。先ほど若手の人口が減ってきているという話がありました。今いらつしやる運転士も高齢化していくということもあり、新たに運転士を募集するために策を考えているかと思えます。どんなことを取り組みとしてやっていますか？

まず、会社見学会を毎月していますので、是非応募していただきたいと思えます。それから、北鉄グループに大型二種免許を取得できる北鉄自動車学校というものがありまして、そこで実際に大型バスを運転できる体験会も時折やっていますので、是非一度参加いただければと思います。一番手軽に参加いただけるのは毎月の見学会で、バスの装置の操作や営業所を案内していますので是非見ていただきたいです。

— (応募の際は)大型二種免許をもっていないなくても、内定後に取れば良いということですね。
— 大型二種免許を取る費用もこちらで負担しますので、是非とも来ていただきたいと思えます。

— 働きやすい環境づくりも必要かと思えますがその辺りはいかがですか？

まず健康第一なので、健康経営に取り組んでおり、いしかわ健康経営宣言企業にも認定をいただいています。有給休暇は大変取りやすい環境にあり、取得率が極めて高い会社です。それから、色々な時間の多様な勤務体系でありまして、フレキシブルな時間も確保しやすいということ。もうひとつ、是非女性の方にも運転士として来ていただきたいと思っています。男職場というイメージが強いかもしれませんが、女性専用の休憩室の設置など、女性にも働きやすい環境を整えています。

— 女性運転士もかなり増えてきましたね。
— 現在グループ全体で18名バスに乗っていただいています。もつともつと来ていただきたいですね。

— でもこの割合という他社と比べるとまだちょっと低いですがね。僕は女性運転士さんの運転、好きですよ。アナウンスがすごく聞き取りやすくてマイクを通さなくてもよく通る方ばかりなので、女性運転士もどんどん増えてほしいなと思います。

それから、健康経営についてですけど、具体的にどんなことをされていますか？
— 定められている健康診断に対してフォロワーのために専用の保健師を雇っており、面談や健康の相談など。ここ近年充実させてきました。ちよっと具合が悪かったり、予防医学に関することなど保健師の方が優しく相談に乗ってくれます。

— 休みも取りやすい環境になっているということですし、その辺りをこの放送で感じていただきたいですね。ちなみに宮岸社長ご自身も車庫や営業所をまわったりされることはありますか？
— ありますね。

— 運転士の方はびっくりしませんか？
— している方もいるかもしれませんがね。顔見知りも結構多いですから二気やつるのかとか、どっちの方向走ってきた？とか、渋滞しとらなんだとか、お客さま沢山乗られたとか、そんな話が多いですかね。

— 保健師さんよりも運転士さんを見る目は確かかもしれませんよ！
— という事で、新しいコーナーが始まったわけですが、本当に僕の大好きな路線バスが今後また沢山増えるよう、バス運転士の応募を呼び掛けていきたく思っています。社長からも、最後に今日のインタビューのまとめということで一言お願いします。

おかげさまで昨年80周年を迎えさせていただきました。次の100周年に向けて、安心・安全を第一に地域への貢献、愛される企業として地域の皆様とともに走り続けるつもりです。それからこの石川県というのは文化観光で賑わう大変素晴らしい土地柄でありますので、ここでバス運転士ができるというのは非常に誇りだと思います。是非とも来ていただきたいと思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

— バス路線もそうですし、貸切のほうも充実させていきたいですね。
— 北陸鉄道の宮岸社長でした。ありがとうございました。こちらこそありがとうございました。

(4月16日放送)



次回は女性運転士が登場します！
北陸鉄道では毎月バス運転士採用説明会をおこなっております HPよりご予約を受付しておりますので是非ご覧ください！